

ひろしま再発見②

～“みち”は大陸へ～

展示主旨

広島市域は、大陸文化の玄関口である北部九州と都のある近畿地方との間に位置しており、古墳時代中期に大陸や近畿地方などの最先端の技術で造られた出土品が集中して出土したり、古代にも七道のうち唯一の大陸である山陽道が通り、外国の施設や文化が数多く行交う地域でした。それは、戦前、出兵基地として大陸進出に重要な役割を果たし、戦後日本の自動車産業の世界進出の一翼を担うなど、近現代における郷土ひろしまの姿につながるものを強く感じさせます。このため、古墳時代から奈良・平安時代の出土品を中心に紹介し、郷土ひろしまの実像を見つめます。

展示内容

- 1** 大陸へと続く海の道、瀬戸内海
城ノ下第1号古墳出土金銅製装飾品
(市指定重要有形文化財) 他
- 2** 動乱の時代、古墳時代中期
中小田第2号古墳出土衝角付甕 他
- 3** 焼物の大変革、須恵器の登場
池の内第3号古墳出土脚把手付短頸壺 他
- 4** 古代の大国家プロジェクト、山陽道
下沖2号遺跡出土品 他
- 5** “みち”は大陸へ～その後のひろしま～
権地古墓出土石帯(市指定重要有形文化財) 他



展示期間中の催し

連続講座「遺跡から読み解くひろしまの実像」

- 第1回 古墳時代中期のひろしま 郷土資料館 主任指導主事 若島一則
日時 平成27年5月10日(日) 13:00～15:00
- 第2回 ひろしまと陶質土器・初期須恵器 日本考古学協会会員 新谷武夫
日時 平成27年5月17日(日) 13:00～15:00
- 第3回 謎の下沖2号遺跡 文化財課主任(学芸員) 高下洋一
日時 平成27年5月24日(日) 13:00～15:00
- 第4回 中垣内遺跡が語るもの 日本考古学協会会員 幸田 淳
日時 平成27年5月31日(日) 13:00～15:00
- 第5回 “みち”は大陸へ～出土品から見つめるひろしまの実像～
日時 平成27年6月7日(日) 郷土資料館 主任指導主事 若島一則
13:00～15:00

場所	郷土資料館講堂	参加費	入館料が必要です
対象	中学生以上	定員	60名(先着順)

展示ガイド

会期中の講座のない日曜日14時から約20分間、来館者向けに展示ガイドを行います。事前申し込み不要。

TEL 734-0015 広島市南区宇品御幸二丁目6-20
TEL (082) 253-6771 FAX (082) 253-6772
ホームページ <http://www.cf.city.hiroshima.jp/kyodo/>

交通案内：【バス】広島バス/御幸通り経由広島港行「御幸2丁目」下車200m
ベイシティ宇品経由広島港行「ベイシティ宇品」下車600m
：【電車】広島電鉄/広島港(宇品)行または宇品二丁目行「宇品二丁目」下車300m
※郷土資料館へのご来館は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

主催：公益財団法人広島市文化財団 広島市郷土資料館・文化財課

